

甲佐町



奥名 克美 町長

甲佐町は、「人と自然が共生し、にぎわいを育む安全・安心・快適を
実感できるまち」を掲げ、熊本甲佐総合運動公園等の観光施設充実、
国史跡指定、道路網整備など、地域や企業、各団体等と連携しつつ、
人口増に向け取り組んできました。これらの拠点施設の活用や交通
アクセスの向上を追い風として、引き続き持続可能なまちづくりを
前提に、4つの取組みを重点的に進めます。企業の皆様には、ご賛同
頂き、ご支援賜りますようお願いいたします。

- 寄付御礼**
- ・贈呈式開催(首長出席、寄付額10万円以上)
 - ・感謝状贈呈(寄付額10万円以上) ・地公体広報誌掲載 ・HP掲載 ・視察受入
 - ・功労者表彰推薦 ・紺綬褒章推薦
 - ・その他



| 人口 | 面積 | 産業構造 | 交通アクセス |
|--|--|---|--|
| 総人口……10,132人 男……4,813人 女……5,319人 世帯数……3,678世帯 | 総面積……57.93km ² 農用地……11.80km ² (20.4%) 森林……25.57km ² (44.1%) 宅地……3.25km ² (5.6%) | 第1次産業……1,514(4.6%) 第2次産業……10,745(32.3%) 第3次産業……20,960(63.1%) <small>生産総額:百万円</small> | ■甲佐町役場まで 九州自動車道 御船ICから……約10km(約15分) 益城熊本空港ICから……約19km(約30分) 松橋ICから……約11km(約20分) 城南スマートICから……約10km(約15分) |
| 人口構成比 | 教育機関 | 高等教育機関 | |
| 15歳未満……12.6% 15～64歳……48.0% 65歳以上……39.4% | 小学校……4校 中学校……1校 高等学校・高専……1校 大学・専門学校他……— | 熊本県立甲佐高校 普通科 普通科福祉教養コース ビジネス情報科 | |

※データは令和4年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。

甲佐町まち・ひと・しごと創生推進計画

ひとを起点とした好循環の創出

〈SDGs〉関連するゴール



- 安定したしごとを創出する基盤づくり**
町外からの人材の呼び込みも含め、特色を生かした魅力ある「しごと」づくりを行う。企業誘致の促進や地場企業への支援を強化する。
- 交流人口の拡大、関係人口の創出と定住促進**
定住施策に取り組むとともに、教育環境の充実を図る。魅力発信を積極的に行い、交流人口の拡大、関係人口の創出を図る。
- 結婚から子育てまで、切れ目のない包括的な支援の充実**
家庭と地域の連携による仕事と育児の両立や相談体制の充実を図る。すべてのライフステージを安心して生活できる環境を整備する。
- ひとが集い安心して暮らすことができる魅力的まちづくり**
住民が主体的にまちづくりに参画・協働するための環境を整備し、安全・安心に住み続けられる持続可能な「まち」づくりを目指す。

甲佐町

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

1 企業誘致の促進

2022年6月に「企業用地取得奨励金制度に関する条例」を制定し、さらに同年12月に「甲佐町国土利用計画」を策定しました。計画を基に、企業の誘致活動や進出の受け皿を整備します。



進出企業の状況

ICTを活用したベンチャー企業やIT企業のサテライトオフィスの誘致活動も行っていますので、企業様のアイデア等を是非お聞かせください。

2 移住・定住施策の充実

民間アパートが少ない一方で、空き家は年々増加しています。移住者の受け皿となる空き家の有効活用を行い、若者の移住・定住を目指します。



子育て支援住宅

地域おこし協力隊の活用やまちづくり団体への支援、熊本県宅地建物取引業協会との連携等を行い、空き家の有効活用を図るため、企業様のお力添えをお願いします。

3 交流人口の拡大、関係人口の創出

総合運動公園や交流拠点施設などの新たな集客施設も整備されましたので、地域を知ってもらい、来てもらい、長く滞在してもらう新しい企画の実施を検討します。



古民家交流拠点施設

スポーツイベントの企画や、地域内を回遊できる新たな観光メニュー・ルートの開発などにおいて、企業様のご支援、ご協力をお願いします。

4 充実した教育の提供

本町唯一の県立高校・甲佐高校の入学者が減少しているため、探求学習や郷土教育を通じて小中高間の交流を深めるとともに、臨床心理士や地域おこし協力隊などと連携した特色あるカリキュラムを実施しています。



対話型キャリア教育に取り組む高校生

甲佐高校独自の公営塾やキャリア教育など、魅力ある教育の充実に取り組んでいます。本取り組みに対する企業様のご支援、ご協力をお願いします。

**重点
プロジェクト**

**地域資源を活用した
魅力発信及び交流人口拡大**

〈SDGs〉関連するゴール



総事業費 7,300千円 寄附目標額 —

数値目標 ●イベントやデジタルスタンプラリーに参加した観光客数 …… 30,000人

背景
・
現状の
課題

本町は熊本県のほぼ中央、熊本市の南方20kmに位置し、町を南北に貫流する清流・緑川や、緑豊かな山々など自然の恵みを感じることができます。趣きある宿とイタリアンレストランが併設した「古民家交流拠点施設」やグランピングを楽しめる「井戸江峡交流拠点施設」に加え、熊本地震からの復興のシンボルとして整備された「熊本甲佐総合運動公園」などには多くの観光客が訪れています。

集客施設の整備が進んだにも関わらず、コロナ禍で来客者数が伸び悩み、思うように交流人口の拡大や関係人口の創出にはつながっていません。地域を知ってもらい、来てもらい、長く滞在してもらう新しい仕掛けが必要となっています。



熊本甲佐総合運動公園

「古民家交流拠点施設」及び「井戸江峡交流拠点施設」の魅力を発信するとともに、国指定天然記念物「麻生原のキンモクセイ」や国指定史跡「陣ノ内城跡」など他の地域資源との連携を図り、町内での宿泊と観光の充実を推進するとともに、イベントの企画や各種スポーツ大会の誘致などを行い「熊本甲佐総合運動公園」の利用促進を図ります。

新たなサイドイベントの内容充実・拡大を図り、町内観光メニュー及びルートを開発を行います。また、SNS等を活用した情報発信を積極的に行います。



たくさんの来場者で賑わう蚤の市

事業の
目的
・
内容

寄附の
具体的な
メリット

- 地域課題解決への貢献によるイメージアップ
- 町公式ウェブサイト、広報紙等での企業名の掲載によるPR効果

寄附申出書の事業名選択時は「まち・ひと・しごと創生推進事業」を選択してください。

**重点
プロジェクト**

甲佐高校の魅力化

〈SDGs〉関連するゴール



総事業費 3,000千円 寄附目標額 —

数値目標 ●甲佐高校から地元企業への就職者数 …… 10人
●地元中学校からの甲佐高校への入学者数 … 12人

背景
・
現状の
課題

本町は緑川流域の豊かな自然に恵まれ、子育てに適した環境を備えており、地域に県立高校・甲佐高校があります。2020年からの新学習指導要領において「社会に開かれた教育課程」の実現を重視するなか、甲佐高校では生徒が体験学習等で地域に出ることで、地域との連携を図っています。

進学や就職などにおいて都市部の方が有利な印象を拭えず、甲佐高校の入学・卒業者数が減少しており、子育て世代の定着につながっていないことが課題となっています。



本町にある県立甲佐高校

地域で活躍できる、地域に還元できる人材の育成を行うことで、甲佐高校の新たな魅力づくりにつなげ、地元中学校からも含め入学者増を図ります。

事業の
目的
・
内容

総合探求の授業時間を活用した対話型キャリア教育を行うとともに、中学生と一緒に地域探求のワークショップ等を行います。



地域の小学生向けに駄菓子販売を行う高校生

寄附の
具体的な
メリット

- 切れ目のない子育て支援への貢献
- 地域課題解決への貢献によるイメージアップ
- 町公式ウェブサイト、広報紙等での企業名の掲載によるPR効果

寄附申出書の事業名選択時は「まち・ひと・しごと創生推進事業」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。